2名様（１名様も可）から出発　シベリア鉄道でユーラシア大陸横断体験旅行

シベリア鉄道全線片道セット9日間（パーツ販売モデルコース）

■出発日と旅行代金：121,800円　　PDF

■最少手配人員：２名　（1名からでも可　料金　149,800円）

■手配旅行約款に準じます。

※ハバロフスク、イルクーツク、ノボシビルスクなど途中の街の滞在や延泊やサンクトペテルブルク追加手配も可能。　※詳しくは無料でお見積りします。※詳細はお問合わせ下さい。

予定のスケジュール			
1日目 ウラジオストク着		着後、専用車で駅前のホテルへ。 （3つ星クラス　H.プリモーリエ泊）	X X X
2日目 ウラジオストク発	19:10	※地図プレゼント 列車（2等4人部屋コンパートメント）でモスクワへ。 （車中泊）	H X X
3日目・4日目・5日目・6日目・7日目 車中		大陸と美しい村々、いろいろな駅を停車しながら9,259kmモスクワへ。各車両に女性車掌がいてサービスします。各駅で下車したり（時刻表は別途お渡しします）、見知らぬ同室者とワイワイガヤガヤ、ロシア式ホームステイのような旅、バイカル湖畔を通過しながらヨーロッパへ。 オプション：途中の街滞在はいかが。 ウラル山脈入り口に「西はヨーロッパ、東はアジア」の碑が見えます。ロシア正教の尖塔が見える古都を通り、終点ヤロスラーブリ駅（隣はレニングラード駅、前はカザン駅、地下鉄もあります）6泊7日の世界最長の列車の旅。 （車中泊）	X X X
8日目 モスクワ着	14:13	人口1200万人ヨーロッパ一の大都会へ。 着後、ご自身で地下鉄を使ってホテルへ。オプション送迎車1台13000円 （4つ星クラス　H.ベスト・ウエスタン・ヴェガ泊）	X X X
9日目 モスクワ発	終日	フリータイム、オプションはいかが ビザの為、ロシアの国を出るまで弊社手配が必要です。	H X X

●料金に含まれるもの（2名参加の場合の1名様料金）

宿泊費（スタンダードツイン）、ホテル朝食付き、鉄道チケット（2等、4名コンパートメント）、ウラジオストクでの空港からホテルへの送迎。

●料金に含まれないもの

国際航空券往復エコノミークラス、食事、海外旅行保険、ロシアビザ代、ロシアビザ取得代行手数料、
変更：各都市1泊、日本語ガイド、駅・ホテルの送迎車、JL、他。

地球の美しさ、壮大さに感動。人生節目のゆっくり旅10日以上楽しむ。

シベリア鉄道の魅力

正式名称Транссибирская железнодорожная магистраль　英語では、The Trans Siberian Railway

①シベリア鉄道の歴史は日本交流史そのものでもある。

①12,000km1904年9月25日全線が鉄路で結ばれる。1910年シベリア経由の日本/欧州間の直通切符が発売される。10日と8時間50分で全線走破できるようになった。それまではスエズ経由の船で1か月半近くかかったが敦賀/ウラジオストク経由なら半月で欧州へ行けるようになる。その歴史には無数の日本人の足跡がある。林芙美子、二葉亭四迷、与謝野晶子、松岡洋右、ベルリンオリンピック選手団、榎本武揚、後藤新平、森鴎外、正宗白鳥、福島安正、黒田清隆、白鳥庫吉、杉村楚人冠、宮本百合子、杉原千畝の命のビザのユダヤ人達…。

②ロシア鉄道の歴史は1837年9月30日当時の首都サンクトペテルブルク/皇帝の宮殿があったツアールスコエ・セロ間の約25km、1851年11月1日にはサンクトペテルブルク/モスクワ間のﾆｺﾗｲ鉄道が開通。これは皇帝ニコライ1世が地図上に定規をあてて一直線に結んだままを線路が施設された。

ロシアのシベリア進出は16世紀から始まり、1689年ピョートル大帝は清王朝とネルチンスク条約など、1860年北京条約で今の国境が定まって、1873年にはウラジオストクに港を開き、太平洋進出拠点としシベリア鉄道建設が決まった。

当時はイツクーツク以西をザバイカルスク鉄道、イツクーツク/ハバロフスク間をアムール鉄道、ハバロフスク/ウラジオストクをウスリー鉄道と言った。アレクサンドル2世は1891年5月31日皇太子だったニコライ2世を海外視察へ欧州、インド、中国、日本そして、そのままウラジオストク起工式に送った。1895年にはモスクワ/ノボシビルスクまで、1898年にはイツクーツクまで（ザバイカル鉄道）、ウスリー鉄道は1897年開通、バイカル湖岸の建設は船による連絡運輸、完全結氷時は氷の上にレールを敷いて列車を通したこともあった。その際、乗客は下車して橇で送られた。1900年にはチタの東カルィムスカヤまで開通した。アムール鉄道は困難のため暫定処置として、中国(清王朝)と交渉して、満州里/ウラジオストク間の東清鉄道を建設、1903年に完成。

2地球の1/4を巡る世界最長の鉄路、アジアと欧州を結ぶ大動脈,。

①線路の幅は1524ｍｍ（５フィート、今は1520㎜）を表記。ロシアはナポレオン軍の侵攻により手痛い体験をしたので、たやすく乗り入れさせないための国防上世界の標準（イギリス発祥地1435㎜４フィート8.5インチ）より少し大きくした。今はフィンランドとモンゴルを除く国境駅で台車を交換しています。現在、シベリア鉄道ロシア号は9,259KMを6泊7日時速平均約62Kで果てしない大地と町々を結んでいます。ロシア内は全て、サハリンを除く、モスクワ時間を表示しています。日本との歴史が深いウラジオストクの観光地は弊社ホームページ又はお問い合わせください。

②地球の美しさを楽しむ
ゆっくり走る(時速約60km）ので車窓風景を楽しめる、写真が撮れる。はっきりした四季があります。また、地域によって月毎少し季節が違ってきます。ウラジオストクを基準（3月中旬～4月上旬は新春の装い、4月中旬～5月中旬は春、5月下旬～6月中旬は雨が多い。6月中旬～7月は初夏、8月は入道雲の盛夏、+30度以上になります。9月は初秋、10月は黄葉の秋、11月は初冬、12月～2月は厳冬ですが、ハバロフスクやイツクーツクはウラジオストクより15日ほど早い季節になります。モスクワはウラジオストクとほぼ同じ気温です。但し、モスクワはウラジオストクの厳冬の一20度というのはなくて、0度～－10度で毎日曇りの日が続き、モスクワの冬は雪は1月～3月上旬です。どちらも大陸性気候の為、雪はあまり降りません。積雪は5CM程度で凍っています。新潟や日本海岸沿いとは違います。

③ロシア旅行社オリジナル5つのプレゼント
・列車時刻表と沿線ガイド　・ロシア語会話集　・アンケート（過去の参加者）集
・地図（ウラジオストク、ハバロフスク、ユジノサハリンスク、イツクーツク、モスクワ）
・最新各地観光案内（観光地、パワースポット、お買い物先リスト他）

写真4枚（春・夏・秋・冬）

ウラジオストク駅：古代ロシア宮殿のような建築

ウラジオストク駅構内ここから始まる
9,259KMシベリア鉄道始発点

④ローカル列車を楽しむ、出会いの旅

1876年明治時代は浦塩（潮）斯徳と記され、1886年西本願寺が布教活動を開始、1914年に浦潮本願寺が建立され1937年まで存続した。1920年頃（大正９～１０年頃）には日本人6,000人が居住していた。長崎・ウラジオストク間に定期便航路もありました。現在、日本企業は共同通信、NHK、朝日新聞社、トヨタ、マツダ、三井物産、住友商事、双日、三菱商事、丸紅、横浜通商など約30社が進出している。

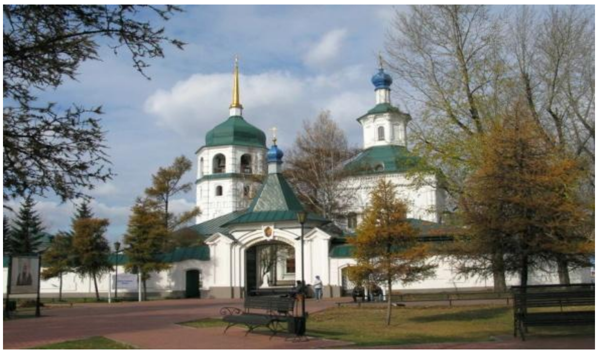
与謝野晶子碑

西本願寺跡

車内（コンパートメント部屋）　　　　　　　　　（食堂車）
サモワール(湯沸し器)は車掌室わきにあり２４時間お湯は自由に使える。耐熱コップとスプーンは無料で借りられる。

見知らぬ駅　　　　　　　　　　　　　　　　　アジアとヨーロッパの境碑（ウラル山脈エカテリンブルグ近郊）

列車が到着する駅では切符がいらないのでホームまで来て、デッキ周辺で物売りのおばさんが集まって来る。プラットホームは露店の店が並ぶ。



バイカル湖　　　　　　　　　　　　　　　　　ズナメンスキー女子修道院

バイカル湖は元々は、海溝であったとされ約3,000年前に大陸プレートの境界に当たる陥没部にあり、海から孤立した世界で最も古い古代湖。現在でも年に幅２ＣＭ、深さ6MMずつ広がっている。人類は2万年前頃バイカル湖周辺にいて一部はマンモスを求めて日本列島へ渡来したと考えられている。

生態系は1,334種の内1,017種が固有種であり、カジカやバイカルアザラシ等ほとんどは海から孤立した際に取り残された海生生物が淡水に適応したものである。

● モスクワ・キエフ　　19,000円から

モスクワ発18:55	5番列車ウクライナ号（2等）
キエフ着07:26	

○成田・ウラジオストク
火・木・日発　15:00/1915
片道27000円から

● モスクワ・ヘルシンキ　　25000円から

モスクワ発19:53	32番列車レフ･トルストイ号(2等）
ﾍﾙｼﾝｷ着10:26	

○モスクワ・成田
毎日19:00発翌朝10：35着
片道51,400円から

● モスクワ・ベルリン　35000円から

モスクワ発23:11	23番列車（ハード）Belorusskaya駅発
ベルリン着21:04	

○他にソウル経由など
ありま す。

● モスクワ・タリン　　23000円から

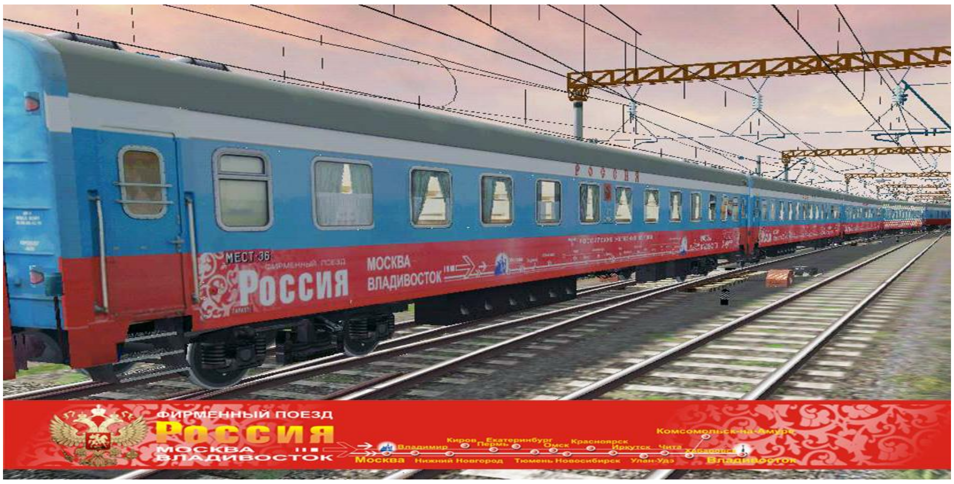
モスクワ発23:10	34番列車(2等)Oktyabrskaya駅
タリン着13:38	

※ヨーロッパ・成田
（アエロフロート）
片道51,400円から

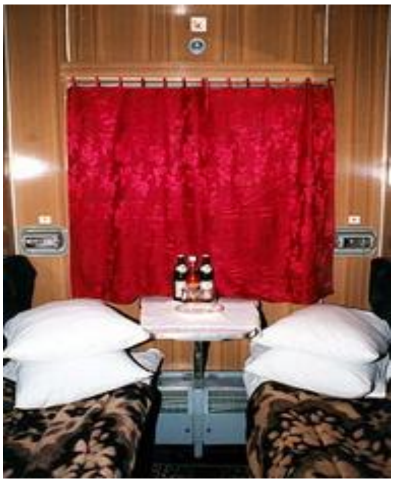
● モスクワ・パリ　77000円から

モスクワ発22:15 (ﾐﾝｽｸ/ﾜﾙｼｬﾜ/ﾍﾞﾙﾘﾝ経由）	23番列車（ハード）Belorusskaya駅発(月・木・金発）
車中	
パリ着09:32	

Россия　（1番列車−ロシア号）
ウラジオストク･モスクワ間を運行する列車の中では最も快適で最速の列車がロシア号で鉄道ファンの憧れの的にもなっています。1等のコンパートメントにはテレビやラジオがあります。また、ロシア号は国内列車としては世界最長距離の列車で、その走行距離は9,259km、所要時間は146時間（6日2時間）に及びます。ロシア号はシベリア鉄道を経由してユーラシア大陸を横断し、7つのタイムゾーンを通過します。
2009年6月には、老朽化していた車輛が更新され新型車輛の61-4440系が投入されました。
クラスは2名個室の1等車と4名個室の2等車からなります。レストラン車が連結されています。



国旗を模した3色の色合いがきれいなロシア号



各車両には車掌がいて安心、お湯をわけてもらうこともできま

快適なコンパートメント

㈱ロシア旅行社

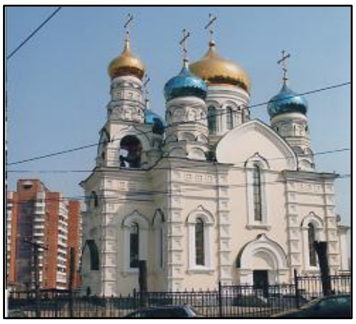
電話:03-3238-9101

FAX:03-3238-9110

素敵なレストラン車

ウラジオストクから行くシベリア鉄道

ウラジオストク港



ロシア正教会

中央広場

市内のファーストフード

旧日本街に大正時代を中心に約6000人日本人が住んでいました。小学校、銀行等がありました。

ウラジオストク連邦大学校門すぐ中に記念碑。隣はロシア語で書かれています。

ｳﾗｼﾞｵｽﾄｸ駅。後ろは港

駅内と前の建物は港ﾀｰﾐﾅﾙ

停車駅（5分から1時間ぐらいいろいろあります）で下車し、
売店をひやかしたり、交流を楽しみます。

ﾎｰﾑにﾓｽｸﾜ迄9288km。
ｷﾛﾎﾟｽﾄもあります。

いよいよｼﾍﾞﾘｱ鉄道に乗り込みます。

車内の廊下。

部屋（コンパートメント）

一車両毎に二つのﾄｲﾚ･洗面台
がありあます。

車窓風景

食堂車で交流

車内で遊ぶことも楽しみの一つ

折り紙を教える

見知らぬ街で下車します。（日本のﾛｰｶﾙ列車と同じように色々な駅に停まります）

列車に合わせて農家の人が売りにきています。

おおらかな大陸の旅。のんびり散策を楽しみます。

終着駅、ﾓｽｸﾜ・ﾔﾛｽﾗﾌﾞﾘ駅

夜の赤の広場とクレムリン

12月~2月冬の風景

外はモスクワより寒く一0度～23度まで下がりますモスクワの冬はどんより曇りの日が多いがシベリア各地は晴天の日が多いのでモスクワより寒いだけで積雪はあまりありません。1CM～5CMぐらいです。イルクーツクはもう少し積雪があるかもしれません。3月は春っぽい空気になり、イルクーツク以外はもう東京と変わりません。

ウラジオストク市内

１ー2月の服装です。

室内は24時間、どこでも+20度以上で寒さは全く感じません。

イルクーツクの駅。外ではこんな服装で充分です。スキー程度の帽子、マフラー、靴は滑りにくいブーツが便利。内は東京と同じです。すぐ脱げる服装をおすすめ。詳しくはお申込み後、お知らせします。

屋外でアイススケートを楽しむ人達

夕暮れのウラジオストク市内

イルミネーションは11月～3月まで続きます。積雪はほとんどありません。

ウラジオストク郊外の村。

食堂車

停車駅、この日ー25度